

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 1年 10月 15日

公表:令和 年 月 日

事業所名 ほしぞら

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13	0	0	学習室・遊戯室・年齢別など空間を分けて活動しているため集中できている。異年齢交流で合同で活動するときは狭く感じる事もある。自由活動の時は、遊戯室でボール遊び、玩具遊び、ポルダリングなど全部は同時にでない為、ある程度活動を制限する事がある。	
	2	職員の配置数は適切である	12	1	0	なるべく多めに配置し、緊急時など臨機応変に対応できる様になっている。下校時間がバラバラで送迎に何人も出してしまう時にはバタついてしまう事がある。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	1	12	通常危険レベルではないが、脚の不自由な子には気になる段差がある。新しく設備したものは段差なく設置できている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	4	4	目標は設定できている。振り返りの時期を決めると継続できる。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		保護者向け評価結果を、職員で共有し改善に繋げる努力をしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	5	自己評価結果をホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	6	第三者による外部評価結果を、職員で共有し改善に繋げる努力をしている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	1	定期的に行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	2	アセスメントをもとに利用者と保護者のニーズや課題を検討し、計画書を作成している。定期的にモニタリングを行ったり、支援者会議などを行い必要に応じて計画変更を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	8		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	2	0	職員で話し合い決めていますが、感覚統合等の研修を受けたスタッフ活動予定表にどんどん取り入れて行けば更に充実した活動内容になると思う。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	1	1	毎月職員同士で話し合い、新しい活動を取り入れたりしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	1	2	時間によって行う支援を日々考えている。平日は時間が少なくきめ細やかな支援は難しい。なるべく細やかな支援ができるよう日々活動の仕方を考える必要がある。学校休業日は、平日ではできない活動を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	3	集団活動・個別活動に状況に応じて組み合わせ出来ている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	0	その日の出勤職員が揃い次第、申し送りや送迎・活動について確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	2	支援開始時には毎日申し送りなどを行っているが、夕礼会のように毎日は設けていないが、情報共有は行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	3	問題等は全体ミーティングや日々の申し送りで共有している。その場にはいない職員などにも分かるよう申し送りノートに記載している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12	0	1	定期的にモニタリングは必ず行い、計画変更など必要に応じて行っている。その他、必要に応じて話し合いの場を設けている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	1	6		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	5	基本的に児童発達支援管理責任者が出席している。その他、利用者の支援に多く携わっているスタッフが出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	2	年間計画・月の行事予定(下校時間表)などは保護者もしくは学校から受け取り、送迎時に役立っている。ただ回収確認ができない場合、送迎時トラブルになる時がある。毎月必ず提出していただくよう声掛けを徹底していく必要がある。保育園はお迎えの時間に変更が無いため、特に通信は受け取っていない。変更などがある時は保護者から口頭で連絡を受けている。連絡がない場合、たまにトラブルになることがある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	8	医療的ケアが必要な利用者は、現段階では受け入れ態勢はしていないが協力医療機関はある。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	5	送迎時や支援者会議などで意見交換している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	8	保護者を通して依頼があれば、必要に応じて情報提供を行っていく。現段階では、希望があれば関係機関に協力していただき職場体験などを行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	7	今は定期的には取り入れていない。今後取り入れて行きたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2	5	毎年スポーツ交流会(他事業所と協力して場を設けている)や地域の祭りに参加し交流している。高学年になってくると事業所に通っていることを知られたくないという子もいるので、その子の気持ちを考えると強制的に全体で交流会参加は難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	6	子ども部会やワーキングチームには毎回参加している。その他、協議会には代表者が参加するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	2	連絡帳で伝えたり、送迎スタッフが直接伝えたりしている。年に2回面談時を行い事業所での様子や今後の支援や共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	6	1	6	保護者会などは行っているが、ペアレントトレーニングまでは行っていない。今後、保護者向けの勉強会などを開催していきたいと思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	5	契約時に分かりやすいように、説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	3	保護者から相談があった場合は、適宜助言を行っている。その他、面談や保護者会などでお話しする機会がある。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	6	イベント時に情報交換や保護者会を行っているが子どもがいるとなかなか落ち着いて話ができない。保護者と職員だけの保護者会を年に1~2回行っているが必要に応じて今後増やしていきたいと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	1	契約時に相談・苦情窓口の説明をしている。保護者から相談・苦情があった場合は担当者が迅速に対応し、スタッフ間で共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	3	毎月活動予定表や通信などで活動の様子を分かりやすく伝えている。
	35	個人情報に十分注意している	12	0	1	個人情報に分かる書類は、鍵付き書庫に保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	2	送迎時や連絡帳で情報伝達している。必要に応じて電話でお伝えしたり個別で話し合いの場を設けたりしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3	5	事業所が地域住民を招待することはあまりない。ただ、地域のお祭りやイベントなどにこちらから参加することは定期的にある。今後、招待できるイベントを考えていきたいと思う。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	3	4	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは作成してあるが、新しい職員など全員に周知しているかといえそうではない。今後、全職員に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	3	年に1回は消防署に出向き防災訓練を行っている。その他活動の中で、避難経路確認などを定期的に取り入れている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	4	虐待防止研修を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	6	身体拘束はしない事を前提で支援を行っている。現在は対象児はいないが、今後やむを得ない場合は保護者に十分説明し、了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	6	保護者からの情報をもとに、アレルギー対象児一覧表を作成し共有している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	2	ミーティング時等で共有できている。